

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

医療機関コード	1311511054					
病院名	社会医療法人河北医療財団 河北総合病院					
所在地	東京都杉並区阿佐谷北1丁目7番3号					
管理者氏名	院長 鎌田 孝一					
病床数	一般	療養	感染症	精神	結核	合計
	331床	0床	0床	0床	0床	331床
承認年月日	令和7年7月30日					

II 業務報告

対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
------	--------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	ア 紹介率80%以上	
紹介率	$\text{①} / (\text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤}))$	80.6 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	10,341 人
	②初診患者数	19,800 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	3,559 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	3,415 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	0 人
逆紹介率	$\text{⑦} / \text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤})$	75.4 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	9,670 人

2 共同利用の実績

(1) 共同利用の体制等

利用医師等登録制度の担当者役職	課長
登録医療機関数	426 件
うち開設者と直接関係のない医療機関の数	426 件

(2) 共同利用状況

共同利用を行った医療機関の延べ数	857 件
共同診療件数	0 件
高額医療機器共同利用件数	0 件
共同利用病床数	10 床
共同利用病床利用率	0.0 %
共同利用可能な医療機器	CT、MRI、アンギオ、内視鏡
共同利用可能な施設等	病床、高額医療機器、図書室、シミュレーション

3 救急医療の提供の実績

(1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	7,317 (3,559)
救急搬送以外の救急患者数	3,756 (3,415)
合計 (うち初診患者数)	11,073 (6,974)

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 重症救急患者の受入体制

重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設	(24時間体制) 救急処置室、感染診察室、CT、MRI、X線、内視鏡室、検体検査室、細菌検査室、手術室、アンギオ室、ICU・CCU
優先使用可能な病床数	8 床
専用病床数	8 床

(3) 通常の当直体制以外における重症救急患者の受入体制状況

通常の当直体制以外における体制確保の有無	有	
	常勤	非常勤
医師数	7人	0人
うち専従数	7人	0人
看護師数 (准看護師含む)	8人	0人
うち専従数	8人	0人
薬剤師数	1人	0人
うち専従数	1人	0人
診療放射線技師数	16人	0人
うち専従数	0人	0人
臨床検査技師数	8人	0人
うち専従数	0人	0人
臨床工学技士数	6人	0人
うち専従数	0人	0人
上記以外の従事者数	2人	0人

(4) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修体制

研修委員会の有無	有
研修委員会の名称	杉並医療連携セミナー
研修プログラムの有無	有
研修指導者数	6 人
研修施設	①講堂 137.2㎡ (主な設備) プロジェクター、②カンファレンスル

(2) 研修実績

地域の医療従事者への研修会開催回数	17 回
うち医師以外の医療従事者を対象とした研修会	3 回
研修会延べ参加人数	443 人
うち院外のみでの延べ参加人数	443 人
症例検討会の開催回数	3 回
医学・医療に関する講習会の開催回数	17 回
研修の内容	地域医療機関の医師をはじめとする医療従事者を対象に『杉並医療連携セミナー』と称する勉強会を月1回のペースで開催。その他、院内で開催するカンファレンス、C P C等への参加可能としている。

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	院長
管理担当者	事務部長
診療に関する諸記録の管理方法	電子カルテにて保管。診療基本マニュアル、診療記録業務マニュアル等に基づいた運用および定期変更を用いた個別パスワード管理を行っている。
病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法	電子カルテおよび院内サーバーにて保管。財団基本マニュアル等を整備し、アクセス権限付与および個別パスワード管理を行っている。

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	院長補佐	
閲覧担当者	課長	
閲覧方法	登録医申請を行い、専用回線にて閲覧	
前年度の総閲覧件数		0 件
閲覧者別延べ件数	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

7 委員会の開催実績

委員長の役職等	東京大学 名誉教授	
委員数		15 人
	うち院外	9 人
委員会の開催回数		4 回
委員会の概要	地域医療支援病院としての現在の状況報告および検討事項、地域医療支援病院の役割を果たすために今後必要なことのディスカッション等	

8 患者相談の実績

相談を行う場所	患者相談窓口
主たる相談対応者	看護師、社会福祉士（MSW）、司書、事務職
相談件数	2,832 件
相談の概要	在宅医療・介護相談、転院・入所相談、受診・入院相談、経済課題相談、家族関係課題相談、身寄り・後見課題相談、虐待課題相談、社会福祉制度活用の相談、病状・障害理解に関する相談、医師や多職種との関係・仲介に関する相談、復職など社会復帰に関する相談、緩和ケアやがんに関する相談、生活全般（食事、運動等）、精神面のケア、苦情相談、その他医療相談について

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	日本医療機能評価機構 (一般病院 2 認定)

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
情報発信の方法、内容等の概要	地域医療支援病院運営協議会…地域医療支援病院としての現在の状況報告および役割を果たすための検討、医師会通報での案内送付、地域医療従事者向け研修会の開催…症例検討、在宅ケアセミナー、学術講演会等

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	有
退院調整部門の人員体制、取組状況等の概要	社会福祉士11名、看護師4名、事務1名在籍。多職種協働の入退院支援の統括部門として、入退院支援の運用体制整備・管理・調整、院内多職種への啓蒙・教育活動、ベッドコントロール、関係機関との連携強化活動 (面会活動、連携会の開催、多機関・地域住民への啓蒙活動等)、患者さんの社会的課題の直接的解決支援 (意思決定支援、転院等退院先決定・調整支援、経済課題・家族関係課題・後見課題・虐待課題等の解決支援、社会福祉制度活用支援、社会復帰支援等) を担う。

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	内容：慢性腎不全地域連携パス 運用：該当患者へのパス手帳配布説明とかかりつけ医へのパス連携の依頼。 年に一度のセミナー開催で運用に関する意見をうかがう。